

新会長に松尾氏就任

県電設業協会が社員総会



円内は松尾新会長

熊本県電設業協会（岩崎裕会長）は21日、熊本ニュースカイで2023年度社員総会を開催した。任期を迎えた理事・監事の改選があり、7期14年間の長きに渡って協会を牽引してきた岩崎会長が勇退。新会長に松尾修一副会長（飯塚電機工業）が就任した。

岩崎会長（不二電気工業）は「つつがなく運営できたのも会員皆様のご協力があったからこそ」と感謝した上で、「次世代にバトンを渡すことができた。松尾新会長には新たな視点と情熱を持って協会を引っ張ってほしい」と期待した。

松尾新会長は「働き方改革の達成、担い手不足の解消など課題が山積している。特に担い手の育成・確保は、次世代の業界を担う若手経営者の皆様の巻き込みながら考えていきたい。持続可能な電設業界の発展を目指し、精一杯職責を務めていく」と抱負を語った。

このほか役員改選で、三宅信彦副会長（熊本大電設備）、高尾幸男副会長（高尾電気工業）、延岡研一副会長（人吉電気工事）の再任が決まり、新たに中川晶雄氏（中川電設）が副会長に就いた。岩崎会長は相談役として協会を支える。

議事では、今年度事業計画案を審議し、施工管理技士検定の事前学習会、低圧電気取扱やフルハーネス型使用作業の特別教育、ボランティア活動などの実施を申し合わせた。岩崎会長は「時代の変化に柔軟に対応しながら技術革新と人材育成

に力を入れ続ける必要がある」と述べ、会員の団

結を呼び掛けた。